

循環器科研修プログラム

1. 特色

ご紹介頂く医療機関との連携を密にした、紹介型の病院です。もちろん、急性冠症候群、急性心不全、心筋炎、大動脈解離、不整脈などの循環器救急疾患に対しては、24時間、365日対応できる体制にあります。

2. 研修目標

- ① 内科レジデントプログラムに則り、内科全般の診断能力を身につけ、認定内科医取得を目指します。当院は認定制度教育病院の資格を取得しています。
- ② 循環器病学の専門知識と幅広い臨床能力を習得します。基本的に、**evidence based medicine** を基盤とします。それに加え、新たな診断・治療法の開発や、実臨床への導入、大学病院と提携した臨床研究などにも積極的に取り組んでいます。アメリカ心臓協会、日本循環器学会、日本心血管インターベンション治療学会などへの演題発表を行っています。これらの学会発表には病院および循環器内科より、出張旅費の支給があります。
- ③ 循環器疾患の診断を的確に行います。
 - 生理学検査； 心エコー検査（経胸壁・経食道心エコー）、ホルター心電図解析、血管エコー（頸動脈・腎動脈・下肢動脈・下肢静脈など）
 - 核医学検査； 心筋シンチグラム
 - 非侵襲検査； 心臓-血管のCT/MRIの判読
 - 侵襲的検査； 心カテーテル検査、スワングアンツカテーテル、電気生理学検査
- ④ 循環器疾患の治療技術を習得します。
 - 冠動脈インターベンション（PCI）技術の習得
 - 末梢血管インターベンション（PPI）技術の習得
 - 心とう液ドレナージ
 - 大動脈バルーンパンピング（IABP）挿入とその管理法の習得
 - 経皮的心肺補助法（PCPS）挿入とその管理法の習得
 - 体外式ペースメーカー挿入、永久ペースメーカー植込み術、
 - 植込み型除細動器の植え込み手術、ならびにその管理法の習得
 - 心臓再同期療法（CRT）の植え込み術、ならびにその管理法の習得
- ⑤ 循環器専門医取得を目指します（循環器専門医は医師免許取得後6年の経験を必要としますので、3年間のシニアレジデント終了後となります）。当院は日本循環器学会認定の専門医研修施設です。

- ⑥ 冠動脈インターベンション認定医（CVIT）の取得を目指します。当院は日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）が指定する研修施設です。
- ⑦ 症例検討会、抄読会など自己研鑽の場も多く開催されています。
- ⑧ その後の進路につきましては、スタッフとして採用される可能性もあります。他施設への異動の希望がありましたら、相談して下さい。

3. 実績と経験目標症例数（2010年実績）

主要疾患	入院数（年間）	経験目標症例数（年間）
急性心筋梗塞	50 例	10 例
不安定狭心症	60 例	20 例
狭心症	800 例	60 例
心不全	230 例	20～30 例
末梢血管疾患	150 例	20～30 例
不整脈	150 例	30 例

	年間件数	経験目標件数(年間)
冠動脈造影検査	531 例	150 例
冠動脈インターベンション	577 例	50 例
末梢血管インターベンション	200 例	10 例
電気生理検査	50 例	15 例
ペースメーカー植込み	84 例	5 例
ICD/CRT-P/CRT-D	13 例	0(サブとして 5 例)

4. 指導体制

副院長： 大嶋 秀一	日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医
部長： 野田 勝生	日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医
医長： 角田 等	日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医
医長： 福島 敬修	